

入札制度の一元化、町の方針は

町内業者が優遇されるべき

質問 将来6市町村での入札制度の一元化が検討されているようだが、始まった場合、町の方針は一定規模以上で応募基準内にもれるものは、共同企業体で対応していいのか。

村における一定規模以上の工事について、一般競争入札を導入するための統一基準作りを進めており、実施時期は、21年4月を考えています。

答弁 公共工事の入札契約の適正化の推進に関する法律施行にともない、町においても入札制度の見直しが課題になっています。

請負金額が高くなるのは避けなければならないが、あくまでも競争して金額を下げる努力をする中で、町内の業者が一番優遇されるべきというのが町の大きな方針です。高止まりがあつてはなりません、緊急の場合頼りになるのは地元業者です。

○その他の質問事項
・新年度予算編成で「安全安心の街づくり」の特に留意した点は

安心安全なまちづくりに 団体の活動状況は

民生児童委員を中心に、 高齢者などの支援に活躍している

質問 老人のひとり暮らし、老々介護の実態はどうか。支援の内容はどうか。また、安全にかかわる諸団体の活動実態は。

答弁 住民基本台帳にもとづいて、民生児童委員が実態の調査につとめています。

支援事業は、訪問調査をし、サービス調整会議にはかり、支援をしています。現在、特に問題はありません。

安全にかかわる活動団体は、8団体あり、年に1回集まって会議を開き、情報の共有をしています。委員は41人で、住民の立場にたつて、暮らしを支援しています。身近なところで活動する委員の

役割に期待しています。安心子育てにも貢献するように、期待します。

委員は、少ない人でも月に5、6回は活動しています。なり手が少ないが、2期はつとめています。消費者トラブルは、高齢者を中心に、年々増加しており、深刻な問題となっております。周囲の人々による見守り、気づきが大切です。

悪徳商法に対しての周知方法は、地域生活センターによる相談、職員が出向いて話しをするなどです。

○その他の質問事項
・自然と共生する環境問題について



小池久長 議員



過日、役場内で指名競争入札が行われました



織田昭雄 議員